

2011年度 日本文化人類学会

第2回 理事会 議事録

日時：2011年4月24日(日) 14:00~19:15

会場：東京外国語大学・本郷サテライト会議室

出席者：渡邊(欣)、綾部、太田、鏡味、葛野、栗田、桑山、佐々木、清水、関根、高倉、棚橋、玉置、
中川、名和、三尾、森山

委任状提出：岡田、小田、栗本、中谷、渡辺(公)

議題

〔承認事項〕

1. 2010年度第7回理事会議事録を承認。
2. 2011年度第1回理事会(メール持ち回り理事会)議事録を承認。
3. 新入会員(3名)につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。
4. 駒澤大学禅文化歴史博物館企画展の後援について
本学会名誉会員の故窪徳忠氏が収集した博物館の所蔵資料を展示する企画展「紙銭の世界 - 異界へと送るお金 - 」(期間：5月16~7月28日)に対する後援依頼があり、総務会で承認したことを報告の上で事後承認。

〔報告事項〕

1. 会長報告
 - ・東日本大震災を受け、会長声明を学会ホームページに掲載するとともに、JASCA-INFOで配信したことを報告。
 - ・上記会長声明の中で行った意見・情報提供の呼びかけに対し、会員から3件の意見・情報提供が寄せられたことを報告。
 - ・各地区研究懇談会担当理事(特に、日本海側も含めた関東地区以北)に対し、研究懇談会を開催する場合には、余震等に備えて、避難指示などの緊急体制について事前に確認しておくよう依頼したことを報告。
 - ・日本学術会議より、東日本大震災への学術としての対応についての意見募集があったことを報告。
 - ・国立民族学博物館との連携に関する協定の調印式を4月15日に国立民族学博物館において行ったことを報告。
 - ・中部人類学談話会より、東日本大震災に関連して、学会へ寄付があったことを報告。
 - ・今年度以降の研究大会について、現時点で内諾を得られている開催校(予定)を下記の通り報告。
2012年度第46回大会 広島大学、2013年度第47回大会 慶応大学、2014年度第48回大会 中部大学、2015年度第49回大会 国立民族学博物館、2016年度第50回大会 南山大学
2. 庶務理事報告
 - ・昨年度末に確認した理事会開催日程に加え、今後メーリングリストによる持ち回り理事会を開催する可能性が高いことを報告。
 - ・日本学術協力財団より『学会名鑑』に掲載する学会基本情報の提供依頼があり、回答を行ったことを報告。
 - ・日本学術会議学術誌問題検討分科会より「学術誌アンケート」への回答依頼があり、回答を行ったことを報告。
3. 会計理事報告
 - ・WCAAへの寄付として、米ドル500\$相当を送金したことを報告。
 - ・IUAESの2010年度会費として、米ドル1000\$相当を送金したことを報告。
 - ・平成23年度科学研究費補助金(研究成果公開発表B/学術定期刊行物)の不採択通知があったことを報告。

- ・5月9日に学会事務局において監事による2010年度会計監査が実施される予定であることを報告。
4. 広報理事報告
- ・3月9日に科学技術振興機構が開催した「J-STAGE 新公開システム説明会 / 利用学協会意見交換会」に出席したこと、「大会演題登録」システムは2012年3月末にサービスを終了するが、「予稿集・要旨集公開」システムはJ-STAGE3でも継続されること、J-STAGE3移行後「学術論文電子化」サービスの新規募集が再開される予定であることを報告。
 - ・国立情報学研究所の学協会情報発信サービスが2012年3月末に終了するため、第45回研究大会終了後、学会サーバの新レンタル・サーバへの移行を行うとともに、学会ホームページの学会サーバ上での本格運用を開始する予定であることを報告。
 - ・関東地区研究懇談会担当理事より、関東地区研究懇談会(3/19)開催延期について周知依頼があり、総務会で承認の上、JASCA-INFOで配信したことを事後報告。
 - ・「震災に関連した学会ホームページの一時停止について」を総務会で承認の上、JASCA-INFOで配信したことを事後報告。
 - ・会長声明「東北関東大震災で被災された会員のみなさまのために」とともに、学会サーバ上に学会ホームページを開設し暫定運用を開始したことを総務会で承認の上、JASCA-INFOで配信したことを事後報告。
 - ・「東北・関東大震災に関する日本学術会議の動き」を総務会で承認の上、JASCA-INFOで配信したことを事後報告。
 - ・「学会誌の発送について」を総務会で承認の上、JASCA-INFOで配信したことを事後報告。
 - ・「IUAES 中間会議における発表登録のための discount code について」を総務会で承認の上、JASCA-INFOで配信したことを事後報告。
 - ・AJJより、春期ワークショップについて周知依頼があり、総務会で承認の上、JASCA-INFOで配信したことを事後報告。
 - ・WCAA メンバーからのお見舞いメール、第6回日本文化人類学会賞・日本文化人類学会奨励賞の受賞者名、会員から寄せられた3件の意見・情報提供を学会ホームページに掲載したこと、日本学術会議幹事会声明「東北・関東大震災とその後の原子力発電所事故について」にリンクを貼ったことを報告。
5. 各種委員会報告
- ・『文化人類学』編集委員会：75巻4号を近日中に発送予定であることを、76巻1号、76巻2号の進捗状況を報告。
 - ・JRCA編集委員会：JRCA Vol.11を近日中に発送予定であることを、Vol.12の進捗状況を報告。
 - ・民博連携委員会：4月10日に委員会が開催され、「人類学者・民族学者」映像記録の公開について引き続きご遺族の承諾を取っていくこと等が確認されたことを報告。
 - ・学会歴史委員会：「人類学者・民族学者」映像記録の常民文化研究所における公開について、本学会会員への公開を原則とするが、保管・公開の実務に携わる常民文化研究所の所員にも閲覧を許可してほしいとの提案があり、次回以降の理事会で審議することとした。なお、公開にあたっては、常民文化研究所の機器を使用すること、閲覧の申し込みと会員資格の確認は学会事務局で行う予定であることを報告。
 - ・地区研究懇談会担当委員：各地区の研究会開催状況、開催予定を報告。東北地区研究懇談会担当の高倉理事より、東北地区会員の被災状況について報告があった。関東地区研究懇談会担当の三尾理事より、震災の影響により修士論文・博士論文発表会を延期したことが報告された。
 - ・倫理委員会：第45回研究大会後の理事会において、倫理綱領の原案(英語版)を提案予定であることを報告。
 - ・研究発表査読委員会：特例として、1件の追加査読を行っていることを報告。研究大会発表要旨集に発表要旨が掲載された後に発表がキャンセルされた場合、その後の研究大会で同内容の発表要旨を提出する場合には、その旨をどこかに注記してもらう必要があるとの意見が出され、今後具体的な方法を検討することとした。
6. 第45回研究大会の準備状況
- ・法政大学より、研究大会前日に研究大会記念シンポジウムを開催したいとの申し入れがあり、承認された。

〔審議事項〕

1. 被災会員の会費特例措置について
 - ・ 森山理事より、東日本大震災の被災会員への会費減免措置について学会予算の減収見込みとともに提案があり、審議の結果、全額免除を評議員会に提案することとした。これに関連して、学会予算の減収が予想されるため、寄付を募ることについて提案があり、この点も合わせて評議員会に提案することとした。また、国立情報学研究所の運営する電子図書館サービスによる学会誌の閲覧サービスを会員の場合に限り無料化できないかとの要望があり、次回理事会までに検討を行うこととした。
2. 民博との連携事業の実施に向けた災害対応検討の委員会の設置に関する検討について
 - ・ 渡邊会長より、民博との連携事業に関し、民博に設置した東日本大震災被災地支援対策会議と連携することが可能な委員会等の組織を学会内に設置してほしいとの要望が民博からあったことが報告され、次回理事会において委員会等の組織の設置に関する具体的な提案を行うこととした。また、春日直樹会員より、東日本大震災に関連するシンポジウムを第45回研究大会において開催したいとの要望があったことが報告され、研究大会準備委員会の判断で会場を提供することが承認された。
3. 第2回育志賞について
 - ・ 綾部理事より、第2育志賞の推薦依頼があったことが報告され、審議の結果、今回は推薦のための公募を行わないこととした。
4. 課題研究懇談会の設置について
 - ・ 関根理事より、資料に基づき課題研究懇談会の設置について応募要項等の提案があり、総務会で文言の確認・調整を行った上で、次回理事会で継続して審議することとした。
5. 2011年度若手支援策案について
 - ・ 鏡味理事より、資料に基づき前回理事会での意見を踏まえた修正提案があり、予算について検討した結果、波平基金から25万円を2011年度予算案へ組み込むこととした。また、2011年度若手支援策「次世代育成セミナー」の提案書については大筋で承認が得られたため、総務会で文言の確認・調整を行った上で、次回理事会に再提出することとした。
6. 2010年度決算・2011年度予算について
 - ・ 森山理事より、資料に基づき2010年度決算・2011年度予算(案)について科学研究費補助金の不採択による減収への対応措置も含めた説明があり、次回理事会で再度確認を行なうこととした。
7. 2010年度事業報告・2011年度事業計画について
 - ・ 綾部理事より、資料に基づき2010年度事業報告・2011年度事業計画(案)について前回理事会からの変更点を中心に説明があり、各項目の確認を行った結果、若手支援策「次世代育成セミナー」を新規事業として追加することとした。
8. 学会誌寄贈依頼(福島県立図書館)について
 - ・ 綾部理事より、東日本大震災で被災した福島県立図書館より今年度発行の学会誌について寄贈依頼があったことが説明され、審議の結果、寄贈することが承認された。
9. その他
 - ・ 渡邊会長より、日本学術会議の震災に関する第5提言と第6提言をJASCA-INFOで周知することが提案され、配信することが承認された。また、今後日本学術会議より同様の周知依頼があった場合には、総務会の判断によりJASCA-INFOで配信することが承認された。

以上